

## 【IDWR 感染症週報】

2026 年 14～17 週までをお届けさせていただきます。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-14.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-15.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-16.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-17.pdf>

### <発生動向総覧と状況>

・水痘の定点当たり報告数は増加した。第 16 週より報告数は減少しているものの過去 5 年間の同時期の平均と比較してやや多い。

・2026 年第 1 ～14 週に診断された麻しんの累積報告数は 236 例で、2020 ～2025 年のいずれの年の同期間の累積報告数を上回った。

・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は 3 週連続で増加した。過去 5 年間の同時期の平均と比較してやや多い。

### <定点把握の対象となる 5 類感染症>

#### ・インフルエンザ

定点当たり報告数は第 7 週以降減少が続いている。都道府県別の上位 3 位 は山形県 (3.95)、沖縄県 (3.91)、北海道 (2.00) である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は 41 例と前週と比較して減少した。都道府県別では 23 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (3 例)、1～9 歳 (12 例)、10 代 (7 例)、40 代 (2 例)、50 代 (2 例)、70 代 (8 例)、80 歳以上 (7 例) であった。

#### ・新型コロナウイルス

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位 3 位は岩手 県 (2.74)、宮城県 (2.25)、秋田県 (1.76) である。

基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は 241 例と前週と比較して減少し

た。都道府県別では 42 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (11 例)、1～9 歳 (23 例)、10 代 (5 例)、30

代（5例）、40代（6例）、50代（8例）、60代（20例）、70代（55例）、80歳以上（108例）であった。

#### ・急性呼吸器感染症

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岩手県（84.33）、群馬県（83.80）、埼玉県（77.66）である。

### 小児科定点報告疾患（主なもの）

#### ・RSウイルス感染症

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県（2.23）、福岡県（1.80）、佐賀県（1.58）である。

#### ・咽頭結膜熱

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県（0.97）、島根県（0.91）、福岡県（0.90）である。

#### ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期（前週、当該週、後週）の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県（7.32）、北海道（6.62）、愛媛県（6.10）である。

#### ・感染性胃腸炎

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は島根県（11.91）、鳥取県（10.37）、富山県（9.62）である。

#### ・水痘

定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県（1.00）、沖縄県（0.96）、群馬県（0.88）である。

#### ・手足口病

定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県（8.00）、佐賀県（2.75）、福井県（1.60）である。

#### ・伝染性紅斑

定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は愛媛県（0.48）、宮崎県（0.40）、新潟県（0.37）であ

る。

・ヘルパンギーナ

定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.33)、佐賀県(0.67)、香川県(0.54)である。

・流行性耳下腺炎

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(0.15)、奈良県(0.13)、埼玉県(0.12)である。

基幹定点報告疾患

・マイコプラズマ肺炎

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は京都府(0.57)、埼玉県(0.50)、高知県(0.50)、愛知県(0.47)である。

・感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)

定点当たり報告数は増加した。19都道府県から41例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(7例)、5～9歳(23例)、10代(9例)、20代(1例)であった。